

ハイランドクラウドへの移行

6つのシンプルなステップで、オンプレミスソリューションをハイランドクラウドに移行

A grayscale photograph of a person with short hair, seen from the side, sitting at a desk in a server room. They are looking at a laptop screen and have their hands on the keyboard. The room is filled with server racks containing various hardware components. The lighting is soft, and the overall atmosphere is professional and technical.

Hyland™

移行の準備ができていますか？

オンプレミスのコンテンツサービスソリューションをハイランドクラウドに移行するという考えは、お客様に多少の不安を与えてしまいますが、実際にはそうではありません。

数多くのお客様の移行を手掛けてきた実績から、移行プロセスを可能な限りスムーズにできるよう細かな調整をしてきました。ハイランドの移行プロセスは、ソリューションの複雑さにかかわらず、ダウンタイムと組織におけるプロセスの中断を最小限に抑えるように設計されています。

どのようなプロセスか、その概要を説明しています。

本題に入る前に...

お客様のソリューションが次の条件を満たしていることを前提にして、移行プロセス全般について説明しています。

前提条件:

- ハイランドクラウドでを使用することを想定しているすべてのモジュールが期待通りに動作する
- データベースプラットフォームとしてMicrosoft SQL Serverを使用している
- お客様のソリューションのバージョンがハイランドクラウドに対応している

これらの3つのうち、どれかがソリューションに当てはまらないとしても、問題はありません。その場合は、移行をどのようにカスタマイズするのが最適なのか別の議論が必要になることがあります。

ステップ1: お客様のソリューション のコピーをハイランドに 提供する

必ず含めるもの:

- データベースのバックアップ
- ディスクグループ
- ソリューションに必要なその他のファイル

重要事項

ハイランドと共有するものとして、特にディスクグループを忘れないようにしてください。本番稼働前の更新中に重複するデータを送信したくないはずですのでそれには、データベースのバックアップ直前にすべてをプロモートします。

ハイランドは、データを取得すると、クラウドに新しいホームのセットアップを開始します。

ステップ2: テスト、テスト、テスト

これで、クラウドソリューションのテスト準備が整いました。お客様は、お客様の変更を追跡し、ハイランドはハイランドの変更を追跡します。その後、これらの変更を本番稼働で適用します。

でも、待ってください。それだけではありません

ソリューションをテストしている間、オンプレミスソリューションを引き続き使用しながら、データ、つまりディスクグループをアップロードできます。そしてハイランドが望むことは、本番稼働時に最終データを最小限に抑えることができることです。ハイランドクラウドでディスクグループを最新の状態に保つと、本番稼働の予定に大きなメリットがあります。



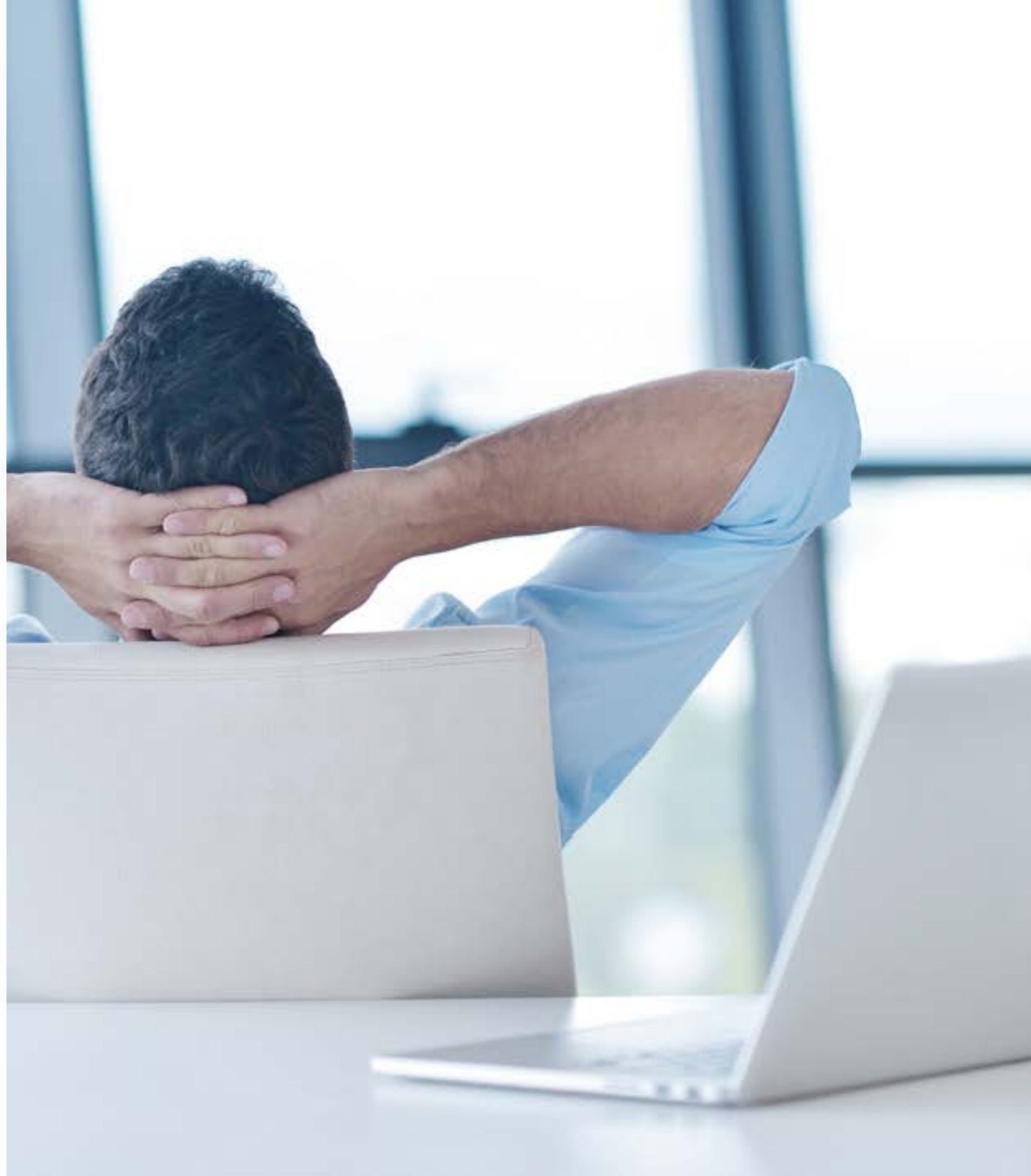
ステップ3: 本番予定

すべてのテストが完了し、ソリューションが期待どおりに動作した後、本番稼働日の予定を決めます。本番稼働プロセスでは、本番ソリューションをオフラインにする必要があることに注意してください。

ハイランドは、日常の混乱を最小限に抑えるために、本番稼働を予定するときに、夜間や週末を含め、最も都合のよい時間に対応できるように努めます。

忍耐は美德です

我慢することは良いことですが、ソリューションの起動に心が弾むのは当然です。または、期限を設定することで、より早く作業を完了させるというチームの動機付けになると考えるかもしれません。経験上、テストが完了するまで、本番稼働日の設定を待つようお勧めします。これにより、予期しない遅延によるスケジュールの変更を回避できます。



ステップ4: 起動の準備完了

ライブを開始する前にすることがいくつかあります。

はじめに:すべてのオンプレミス作業を停止します。オンプレミスからホストされたクラウドへのクリーンな一括移行が最善なので、最終的な移行時にオンプレミスのソリューションでトランザクションを作成しないようにユーザーに伝えます。

次に:前に説明した並行プロジェクトを覚えていますか(ページ4に戻る)。では、新しいデータベースバックアップと残りのディスクグループデータをアップロードします。そのサイズは、一般的に本番稼働時のタイムラインの中で最大の時間的制約です。



ステップ5: もう一度テストする

データが受信され、最終的なディスクグループが配置され、データベースが復元され、初期テスト段階で記録されたすべての変更が行われました。ライブを開始する前に、ソリューションの最終確認を行います。

最後に、すべてが期待どおりに動作していることを確認するためのテストを行います。

ステップ6: 本番稼働

完了しました。オンプレミスソリューションからハイランドクラウドでホストされるソリューションへの移行に必要なすべてのステップを実行しました。これで、この戦略的な決断から得られるあらゆるメリットを享受できます。

セキュア

多くの企業では実現できない卓越したセキュリティを厳格なセキュリティ手順に従って提供します。

サポート

認定資格を持つクラウドサービスプロフェッショナルが年中無休でサポートします。

信頼性

クラウド事業の発足以来、99.99%の稼働率でお客様にデータをご利用いただいています。

データセンターの選択

お客様は複数のデータセンターからコンテンツのコピーを保存する国を選択でき、自社のデータの保管場所を把握できます。

コンプライアンス

SLAやコンプライアンス・規制要件などの厳しい要件を満たします。



確認リスト

ハイランドクラウドへの移行プロセスの概要(参考)

- システムの完全なバックアップを作成
- データベースバックアップ直前にディスクグループをプロモート
- ハイランドがソリューションデータを受け取り、テスト用にソリューションを展開してすべての変更を追跡
- リリースされたソリューションをテストし、すべての変更を追跡
- テストプロセス中にディスクグループのデルタを提供し、本番稼働で必要となる最終データを可能な限り小さくする
- テストの完了
- 本番稼働の予定を決定
- 本番開始時点で、オンプレミス本番ソリューションをオフにする
- データベースの完全バックアップと残りのディスクグループデータを送信
- ハイランドがデータベースを復元し、最終的なディスクグループを配置
- ハイランドがすべての必要な変更を行って、ソリューションをホスト可能にする
- 必要な変更を行って、ソリューションをホスト可能にする
- ソリューションを最終テスト用にリリースする
- ソリューションがハイランドクラウドで稼働する

Hyland™

ハイランドクラウドへの移行について、詳細情報が必要ですか。

技術資料「クラウドへの移行: OnBase オンプレミスソリューションをハイランドクラウドに移行する方法」をダウンロードする